

技術士 2 次試験に合格して



畑中 壮大
(はたなか まさひろ)

勤務先

**株式会社 北海道日建設計
設備設計室**

〒060-0042 札幌市中央区大通西 8-2 住友商事・フカミヤ大通ビル
TEL 011-241-9438 FAX 011-241-7598
E-mail hatanaka.masahiro_hns@nikken.jp

■ 専門：衛生工学部門(空気調和)

1. 自己紹介

私は 1984 年(昭和 59 年)に青森県八戸市で生まれ、大学進学を機に北海道へとやってきました。昔から旅行で訪れていた北海道に漠然とした憧れを抱いていたのですが、大学の学生生活を通して札幌の住みやすさにすっかり惚れ込んでしまい、故郷の八戸に戻ることなく札幌在住 15 年目を迎えております。

現在は設計事務所である北海道日建設計に勤務し、オフィスやホテル、学校、工場など様々な建物用途の空調・給排水衛生設備の設計監理業務に従事しております。

2. 技術士試験について

建築の設計事務所は、資格として一級建築士や建築設備士を持っていれば事足りてしまう業界であるため、技術士は業務としての必要性はそこまで高くないのが実情です。そのような環境の中でも、社内に何名か先輩技術士の方々がおり、第一線でご活躍されている姿を見て、将来的に私も技術士資格を取得し、活躍の幅を広げていきたいと思ったのが受験動機でした。また、職場の同期が数年前に技術士を取得したこともあり、技術士資格取得のモチベーションに拍車がかかりました。

技術士試験は、卒業した北海道大学建築都市学科は JABEE 認定コースであったため、第 2 次試験からの受験となりました。私の受験した衛生工学部門は参考書のような書籍がほとんどなく、試験勉強の最初の頃は過去問や先輩方からの情報収集に苦労した記憶があります。また、筆記試験の択一問題は対策が取りやすかったのですが、記述問題の対策方法の見当がつかず、ひたすら仕事で使う空衛便覧などの専門書を読み漁るという、だいぶ非効率に思える

ような勉強をしていたのが懐かしい思い出です。初めての受験であったため、筆記試験の時間配分がうまくつかめておらず、最後は殴り書きに近い答案となってしまう、がっくりと肩を落としながら試験場を後にしていたため、筆記試験合格の案内が届いた際にはとても嬉しかったのと同時に、口頭試験までの対策期間の短さに愕然としたのを覚えております。

口頭試験の想定問答集を作成するにあたり、社内にいる技術士の先輩から貴重なアドバイスを頂くことができ、面接時もあまり臆することなく回答することができました。身近にそのような先輩方がいる環境がいかにも恵まれているかを改めて実感することができ、私自身も技術士として後進の手本になれるよう努力しなければと考えております。

3. 今後について

国内において北海道は積雪寒冷地という特殊な気候風土を持つ地域だと思えます。冬の寒さ、雪の多さといった厳しい外気条件は、道内に住む方にとっては負の側面に捉えられる場合も多いですが、視点を変えれば冷涼な気候や冬のアクティビティの多さなど豊かさにつながる長所とも言えます。私の専門である空調衛生設備分野から見ても、本州以南と北海道では設計思想が異なることが多いと感じています。微力ではありますが私の大好きな北海道の発展に少しでもつながればという思いから、積雪寒冷地の特徴を活かし、国内外に発信できるような快適で省エネルギーな建築の実現を目指していきたいと考えております。

最後になりましたが、今回の受験にあたり私を支えてくださった職場の皆様および家族にこの場を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございます。